

富谷の風便り

第 41 号

平成 31 年 3 月 25 日

発行：宮城労災特別介護施設
富谷市明石台 4 丁目 8 番地 1

TEL：(022) 772-3311

FAX：(022) 772-3312

九州グルメイベント

去る平成三十一年二月二十三日(水)、ケアプラザ富谷内のレストランに於いて九州グルメイベントが開催されました。昨年度の沖縄グルメに続き、今年度は、給食委員入居者代表の方のリクエストにお応えした九州グルメとなりました。

主菜は、チキン南蛮(宮崎)と鶏天(大分)からお好みのおかずを選んでいただく選択メニューとし、そのほか高菜飯(熊本)、薩摩汁(鹿児島)、呉豆腐(佐賀)、辛子明太子(福岡)及びカステラ(長崎)と九州各県をイメージした料理を提供させていただきました。

食事をされた入居者の方々からは、「実際に行けない土地の味をケアプラザで味わえたことが魅力的で楽しかった」、「各地方の食文化が分かって勉強になった」、「メニューを見て期待していたとおりの料理を味わえて満足した」、「今後もこのようなイベントをどんどんやってほしい」等の言葉をいただき、企画実行した職員にとってもやりがいを感じられる行事となりました。



車いす移動車の納車

平成三十年九月二十八日(金)に小型の車いす移動車が、同年十二月十九日(水)に大型の車いす移動車がそれぞれ納車されました。

小型のバスは、日産自動車製キャラバンで、これまでより全長が四百ミリメートルほど長く内輪差が大きいため、従前の車両の感覚で左折すると縁石に乗り上げてしまう危険性があり注意が必要です。また大型のバスは、三菱ふそう製ローザで、これまでとほぼ変わらない全長七百七十三ミリメートルとなっています。

車体カラーは、何れも洗練されたホワイト一色となっており、これまでも増した一層のエレガントな走りに期待できそうです。



三年間を振り返って

入居者の皆さん、職員の皆さん、この三年間大変お世話になりました。
 皆さんに寄り添った施設運営を心がけ取り組んできましたが、道半ばでの退職となつてしまいました。入居者の皆さんには、これから心強く持つて長生きしていただきたいと思つています。

近年の先進医療は、どんどん進歩しています。

職員の皆さんは、自身の知識・技術に一層の磨きをかけ入居者さん本位の介護に取り組み、介護という仕事を楽しめるようになってください。

短い間でしたが、本当にありがとうございました。

(施設長 結城 登)

熊の話

先日、自然観察のガイドさんから熊の生態について、興味深い話を聞いたので、紹介しようと思います。

一般的に、熊は冬眠すると言われますが、冬眠中の熊の体温は三十一度くらいで何かの拍子で覚醒してしまうこともあり、メス熊に至ってはその状態で出産もすることから、冬眠ではなく「山籠り」や「仮眠」であるという方もいるそうです。

また、熊は、背を向けて逃げると追いかけてくる習性があるそうなので、万が一遭遇してしまったときは、熊の目を逸らさずしつかりと見つめ、ゆっくり後ずさりすることが危険を回避する

こたえ

- ①
- ②
- ③
- ④

クロスワードパズル

【ヒント】七月十一日のミニ旅行(夏)で訪れたお寺の山号

タテのカギ

- 1 相撲の決まり手のひとつ「○○○○○を食う」
- 2 文章の一行又はごく短い一節
- 3 南米原産の多年草 花言葉は「輝く美しさ」
- 6 坐つて禅を修行すること「○○○を組む」



ヨコのカギ

- 1 ○○○ザクラ 別名「ヒカンザクラ」花言葉は「優美な美人」
- 4 主に若者ことば 俗語で「とりあえず」
- 5 中国の伝説上の神獣 不死鳥
- 7 この広報誌のこと 富谷の○○○○○
- 8 心の働きや精神の状態のこと ○○○学

最良の行動であるとのことでした。
 これからの季節、皆さんも熊に遭遇したときは、ぜひこの話を思い出してください。



釣りサークル発足

宮城労災特別介護施設の釣りサークルが発足して約一年半が経ちました。

当初は、何となく集まった数人の釣り好き職員から始めたため正確な発足日は定かではありませんが、サークルらしくなつたのは、平成二十九年の盛夏だったと記憶しています。

数人で始まったそのメンバーも今では事務職員、介護職員及びOBの合わせて七名となり、そのうち六名が男性、一名が女性の構成となっています。

活動内容は、主にソルトウォーター(※①)でのオフショアフィッシング(※②)で、二十四フィート程度のプレジャーボートをレンタルし、マリナーから約十五マイル先にある漁礁を目指します。

フィールドは、基本的に宮城県沖ですが、その日の天候や世間の釣果状況によっては山形県沖にも遠征します。ターゲットは、ヒラマサ、カンパチ及びワラサ等のいわゆる青物に始まり、アイナメ、マダイ、ヒラメ及びカレイ等をジギング(※③)又は餌釣りで狙います。

普段は、勤務の都合上おおむね四名で釣行し、サークルとしての活動時期は春から秋にかけて、冬は、寒さに耐えることができる者だけが各々で活動しています。

また、メンバーのなかには、釣り上げた魚を一流料理人さながらに捌く者も数名おり、その腕前は、見た目にも美しく高級料亭で提供できるほどです。

昨年の秋には、七名全員参加で初のコンペティションを開催しましたが、あいにくの雨や強風を伴う大シケのため目指すポイントの手前で断念し、比較的波の穏やかな湾内での開催となりました。

コンディション最悪のなか皆んな悪戦苦闘していましたが、なんとか無事終了することができ、ある意味とても思い出深いものとなりました。

これまでイルカの群れに遭遇するサプライズもあったり、穏やかな海原を漂っているだけでも心地良いものですが、大切なメンバーの命を預かる筆者としては、今後より楽しく安全第一をモットーに充実した活動を行っていききたいと思っています。

- ※①海
- ※②船釣り
- ※③ルアーフィッシングの一種



余白

宮城労災特別介護施設は、住宅地の中にありながら、椿や梅、桜、ハナミズキ、藤、百日紅、金木犀、山茶花などをはじめ、四季の移り変わりに咲く花々、遠くには蔵王連峰、船形連邦、泉ヶ岳や七ツ森というふるさとの山々を望み、私が過ごした時間は、その自然の中で日常を過ごす入居者の皆さんとの五年間でした。

また、平成十二年の創設時に見学で訪れたこの施設で勤務することに不思議な縁を感じました。

ここでは、花を植えたり干し柿づくりをしたり、枝豆やジャガイモ、トマトを作ったり、施設内外での様々な行事や業務に携わる中で、入居者の皆さんや職員をはじめ、施設の業務を担う方々から色々なことを学ぶ機会にも恵まれたと思っています。

平成二十六年五月から関わった入居申請者の面接では、岩手、宮城、山形、福島及び新潟の各県をまわり申請者は総勢二十二名を数え、限られた時間内での説明で戸惑いを感じるなか、ご本人やご家族の方から温かく接していただいたことに深く感謝しております。

また、すべての入居者と接するという自らの目標には僅かながら及びませんでしたが、声を掛けられたり近づいて来て微笑んでもらったりすることもあり、嬉しく感じる機会も多くなりました。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げ、今後は、人生の余白や日常を大切に過ごして参りたいと思います。

(総務課長 渡邊成一)

介護費改定のお知らせ

この度、労災保険の介護(補償)給付の支給限度額が変更されるため、これに伴い平成三十一年四月から介護費月額が改定(引上げ)されます。

なお、改正後の介護費の口座振替は、平成三十一年六月開始となり、納めていただいた介護費は、これまでと同様に労働基準監督署への請求により改定された額と同額が支給されます。

【改正後の介護費月額】

常時介護…月額一六五、一五〇円

(現行一〇五、二九〇円・引上額 五九、八六〇円)

随時介護…月額 八二、五八〇円

(現行 五二、六五〇円・引上額 二九、九三〇円)

【改正省令の施行日】

平成三十一年四月一日

退職者等のお知らせ

平成三十一年三月三十一日付け

【定年退職】 結城 登 (施設長)

【委嘱満了】 渡邊 成一 (総務課長)

【定年退職】 西川 幸子 (介護課長)

【定年退職】 菅原 るみ子 (介護課長代理)

【定年退職】 小室 みつよ (介護課員)

※継続



【クロスワードパズルのこたえ】
かんざん(関山 中尊寺)